

**拡大・成長し続けるeコマースに対応、最先端設備を導入し生産性を徹底的に追求  
アスクル最大の物流拠点「ASKUL Logi PARK 関西」を新設へ  
～都市型センターで約1,000人の雇用創出、さらに働きやすさや環境にも配慮～**

アスクル株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:岩田彰一郎、<http://www.askul.co.jp/>、以下アスクル)は、業容拡大に伴い増え続ける出荷量に対応するため、流通業における1社単独の物流施設としては関西最大級となる物流拠点「ASKUL Logi PARK 関西」(所在地:大阪府吹田市、以下ALP 関西)を新設します。

ALP 関西は、先進的物流施設のリーディングプロバイダーであるグローバル・ロジスティック・プロパティーズの日本法人、グローバル・ロジスティック・プロパティーズ株式会社(本社所在地:東京都港区、代表取締役社長:帖佐 義之、<http://www.glprop.co.jp/>、以下 GLP)が建設を進めており、アスクル専用の1棟賃借物流施設として2017年12月の稼働を目指しております。

ALP 関西はアスクルでは8拠点目、そして最大の物流センターとなり、アスクルの法人向けサービス「ASKUL(アスクル)」と、一般消費者向けインターネット通販サービス「LOHACO(ロハコ)」双方の物流を担う予定です。



「ASKUL Logi PARK 関西」の完成予想図

## 1. 拡大・成長し続けるeコマースに対応、アスクル最大の物流センター

eコマース市場は拡大・成長し続けておりますが、これに伴い物流・配送のスピードや商品の品揃えに対するお客様のニーズは飛躍的に高まっており、重要なポイントとなっております。アスクルでは、お客様のニーズにお応えすべく様々な商品の「明日(今日)お届け」を実現するため、アスクルとして8拠点目、関西エリアでは2拠点目となるALP 関西を新設します。

2017年12月に稼働予定のALP 関西は、延床面積約5万坪とアスクル最大の物流センターとなり、業容拡大に伴い増え続ける出荷量に対応します。出荷能力は年間1,000億円クラス、さらにアスクルの既存物流センターで培った設計・運営ノウハウを活かすとともに最先端設備を導入し生産性を徹底的に追求、24時間365日フル稼働のeコマース時代に適したアスクル最大の物流センターとなります。

## 2. 都市型センターで約1,000人の雇用創出、さらに働きやすい職場作り

ALP 関西は大阪駅から北に直線距離で約9km、中国自動車道吹田ICから約6kmと立地のよい都市型センターです。最寄駅から徒歩圏内と好立地で、近隣には住宅地も点在するため同施設の新設により約1,000人の雇用が創出される予定です。ALP 関西は最適な労働環境を構築し働きやすい職場作りを目指します。

### 3. 環境にも配慮した物流センター

GLPが開発し建設するALP関西は、世界的にも広く普及している建物環境認証制度である、米国グリーンビルディング協会の環境評価指標「LEED」※1において、ゴールド認証を取得する予定です。

また、国土交通省の「平成27年度(第2回)サステナブル建築物等先導事業(省CO2先導型)」※2において、物流施設として初めて採択された施設です。社会のインフラストックとして200年の継続利用を目標に免震構造を採用すると同時にフル・プレキャスト化を行っております。また物流施設として初めてとなる庫内の快適性を保つための多層式車路の3D換気システムを採用し、CO2排出量およびエネルギー使用量削減を図ります。その他、全館LED照明、浄化槽排水の中水利用や太陽光パネルの設置など徹底的に環境に配慮した設備を兼ね備えた物流センターとなります。

※1 建物全体の企画・設計から建築施工、運営・メンテナンスまで環境と資源に配慮した建物である「グリーンビルディング」を評価する米国グリーンビルディング協会が所管している任意の認証制度です。

※2 サステナブル性という共通価値観を有する省エネ・省CO2や木造・木質化による低炭素化に係る先導的な技術の普及啓発に寄与する住宅・建築物のリーディングプロジェクトに対して、国が予算の範囲内で支援する国土交通省が事業の採択を決定します。

#### <施設概要>

名称：ASKUL Logi PARK 関西

所在地：大阪府吹田市岸部南3-166-12

着工：2016年5月

竣工：2017年8月(予定)

稼動開始：2017年12月(予定)

敷地面積：約75,000平方メートル(約22,000坪)

延床面積：約165,000平方メートル(約5万坪)

建物階数：地上4階建(全棟賃借)

トラックバース数：約290バース(各階計)

環境設備：屋上太陽光パネル、全館LED照明、多層式車路の3D換気システム、浄化槽排水の中水利用

※ 本リリースに掲載の情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。